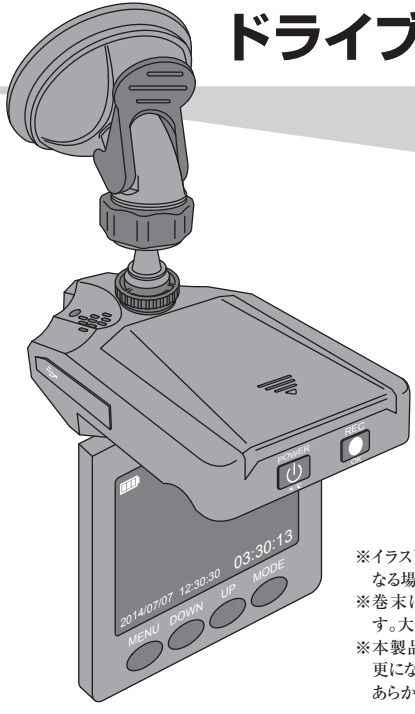
DIXIA

ドライブレコーダー

DX-DR30

取扱説明書



※イラストはイメージです。実際の外観と異なる場合がございます。
※巻末に製品保証書が添付されています。大切に保管しておいてください。
※本製品のデザイン、仕様は予告無く変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

このたびは、DIXIA ドライブレコーダーをお買上げいただき、まことにありがとうございます。事前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解した上でご使用ください。また、「安全上の注意」の内容を必ずお守りください。
本取扱説明書の巻末に製品保証書が添付されていますので、必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

目　次

1．安全上のご注意……3
2．ご使用になる前に
2－1．内容物の確認……7
2－2．各部名称……8
3．セットアップ
3－1．SDカードの準備…… 10
3－2．バッテリーの準備……10
3－3．本体の取付……11
3－4．電源について……14
3－5．日付時刻設定……15
4．使用方法
4－1．動画を撮影するには……16
4－2．静止画を撮影するには……19
4－3．撮影した動画／静止画を確認するには…20
4－4．ファイルを削除するには……22
4－5．ファイルをPCにコピーするには …… 23
4－5．PCカメラとして使用するには …… 24
5．各種設定……25
5－1．共通設定……26
5－2．ビデオ設定……27
5－3．フォト設定……27
5－4．再生設定……27
6．メンテナンス……27
7．仕様表……28
8．故障かな？と思ったら……29
9．アフターサービスについて…30
製品保証書……31

1 安全上のご注意

この項目では、人への危害や財産の損害を防ぐための注意事項を説明しています。本取扱説明書で使用する各マークには下記の意味があります。

⚠警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険があります。	⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人的および物的損害が発生する危険があります。

■絵表示と絵表示の意味

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠警告

●運転中は本製品の操作をしたり、本製品の液晶画面を見ない。
重大な事故の原因となります。運転中は液晶画面を収納してください。本製品を操作する場合は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。

●運転中、視界のさまたげにならない場所、また、運転操作に支障をきたさない場所に本製品を設置する。
設置の際は前方だけでなく、左右の視界のさまたげにならないかを確認してください（11ページ参照）。また、電源コードがレバーやハンドル等に絡まないよう、取り回しにはご注意ください。また、運転中に落下しないよう確実に取付を行ってください。

●本製品を分解・改造しない。本製品内に異物を入れない。
火災・感電・故障の原因になります。故障の際はご自分で修理なさらず、販売店またはサポートセンターにお問い合せください。

●指定された電源で使用する。
火災・感電・故障の原因になります。シガーソケット（12V／24V）、またはUSB電源でご使用ください。付属のアダプタ・バッテリーをご使用ください。

●水やその他液体、薬品をかけない。バッテリーは火中に投じ入れない。
火災・感電・故障・爆発の原因になります。

⚠注意

●高温になる場所で長時間放置・使用しない。
火災・故障の原因になります。

●エンジンを止めた状態で長時間本製品を使用しない。
車両のバッテリーが放電され、エンジンがかからなくなる可能性があります。また、車種によってはキーを抜いた状態でもシガーソケットから電源が供給されることがあります。不使用時には本製品のシガープラグアダプタをシガーソケットから取り外してください。

●日本国外で使用しない。
本製品は日本国内用に設計されています。他国では安全基準などが異なる場合があります。

●シガーソケット内の汚れを取り除く。
シガーソケット内にほこりや汚れが付着している場合、本製品の動作が不安定になることがあります。

⚠使用上のご注意

●本製品についてのご注意

※ドライブレコーダーは事故を防止する装置ではありません。
※本製品は、舗装された公道を走行する車両に取り付けて使用することを想定して設計されています。オフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や、競技車両には使用できません。
※LED式信号機を撮影した場合、信号が点滅、または消灯して映ってしまうことがあります。これはLED信号の同調によるもので故障ではありません。この現象は仕様によるものであり、弊社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
※本機で記録した内容は個人で楽しむ他は、肖像権や著作権に関する法律により、権利者に無断で使用することはできません。動画サイトにアップするなどの行為はお控えください。

●SDカード（別売）についてのご注意

※SDカードは精密品です。落下・水濡れ・静電気に十分注意してください。持ち運ぶときは市販のハードケースに入れてください。
※SDカードは消耗品です。定期的に新しい物と交換してください（使用期限は各SDカードのメーカーの保証回数によります）。保証回数を超えた SDカードを使用すると、正常にファイルが記録されない場合があります。
※SDカードを抜き差しするときは、必ず電源をお切りください。電源が入ったまま、SDカードを抜き差しすると、SDカード内のデータを破損する恐れがあります。

※本機で使用するSDカードを他の機器で使用しないでください。他の機器のデータが入っているSDカードを使用すると、本機が誤動作を起こすことがあります。
※SDカードのフォーマットを行う際は、ファイルシステムをFAT32形式で行ってください。
※すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。SDカードによっては正常に動作しない場合があります。

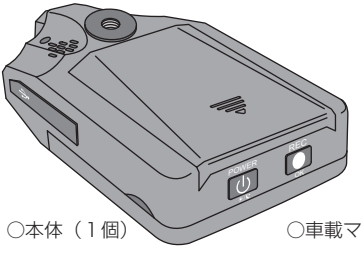
免責事項

●本製品を設置したことによる車両や車載品の故障、破損については弊社では一切責任を負いかねます。
●本製品で撮影した動画や静止画は、事故などのトラブルに対して法的な証拠能力を保証するものではありません。
●本製品の故障、トラブルなどで映像が記録できなかった場合、その他の理由でデータが消失してしまった場合でも、弊社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

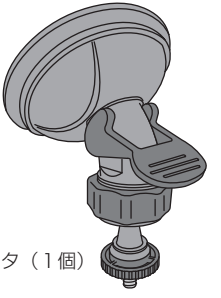
2 ご使用になる前に

2−1. 内容物の確認

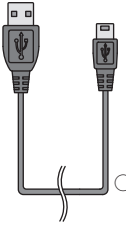
パッケージには本体のほかに、各付属品が同梱されています。
本体や付属品を箱から取り出す際には、破損しないよう十分ご注意ください。



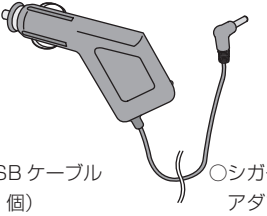
○本体（1個）



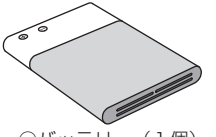
○車載マウンタ（1個）



○USB ケーブル
（1個）



○シガープラグ
アダプタ（1個）

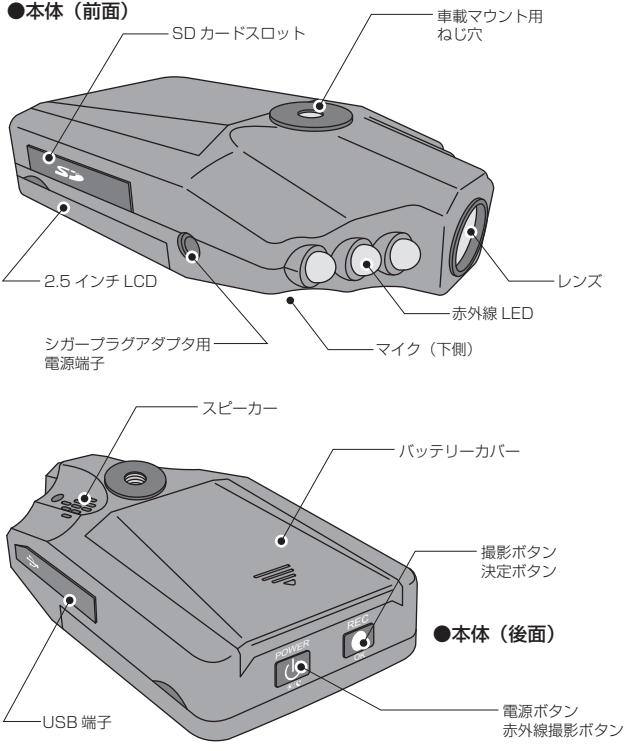


○バッテリー（1個）

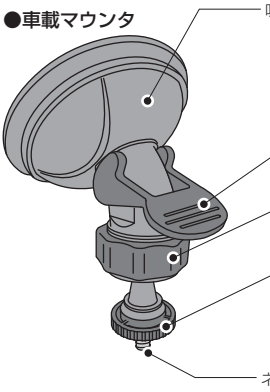
※SD カードは付属していません。別途ご用意ください。

※はじめから破損していたり付属品が不足している場合には、ご購入店にお問い合せください。

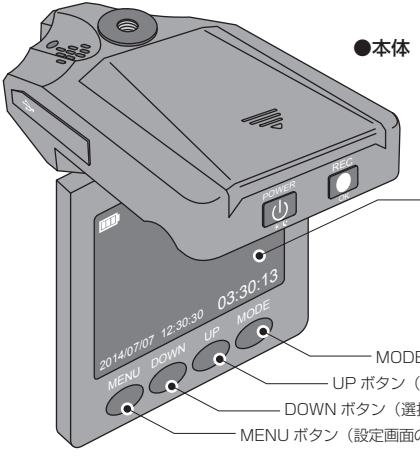
2–2. 各部名称


●本体（前面）
SD カードスロット
車載マウント用
ねじ穴
2.5 インチ LCD
レンズ
赤外線 LED
シガープラグアダプタ用
電源端子
マイク（下側）
スピーカー
バッテリーカバー
撮影ボタン
決定ボタン
●本体（後面）
USB 端子
電源ボタン
赤外線撮影ボタン

●車載マウンタ



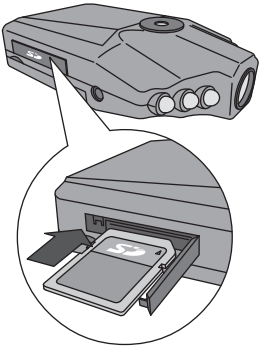
●本体（LCD）



3 セットアップ

3−1. SD カードの準備

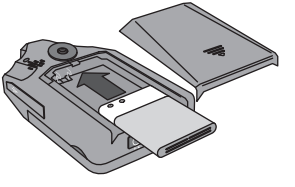
本製品では、動画や静止画を撮影するためにはSDカードが必要です。SDカードは付属していません。別途SDカードをご用意ください。最大32GBまでのSD（SDHC）カードに対応しています。（4GBのSDカードで約70分の動画が撮影可能です。）



SDカードを抜き差しする時は、必ず電源が入っていないことを確認してください。
右図のように本体側面のSDカードスロットカバーを開けてSDカードをセットします。

3−2. バッテリーの準備

本体にバッテリーをセットします。
バッテリーは、エンジンがストップした状態でも撮影した映像を確認する際のほか、日付などの設定を保持するために必要ですので、必ずセットして使用してください。
右図のようにバッテリカバーを外し、バッテリーをセットします。



バッテリーは、電源を接続した状態で自動的に充電されます。
※必ず付属のバッテリーを使用してください。

3−3. 本体の取付

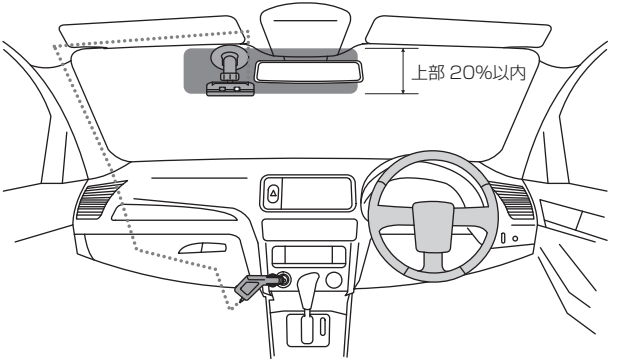
●本製品の取付位置について

本製品は車両のフロントガラスに車載マウンタを使用して取り付けてください。

取付位置は、フロントガラスの上部20%、ドライバーから見てルームミラーの影になる位置が目安です。

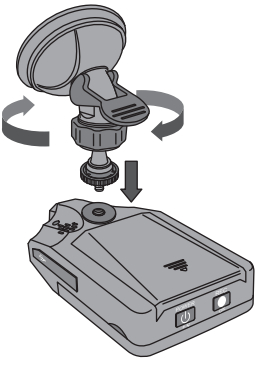
運転操作に支障をきたさないよう、電源コードの取り回しにはご注意ください。（電源接続の詳細は14ページ参照）

シガーソケットの位置、その他インテリアの構造は車両によって異なりますのでご注意ください。



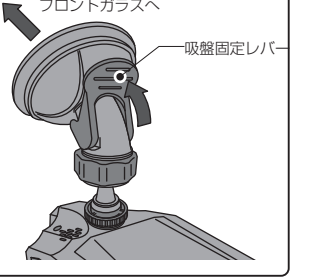
●取付方法

①まず、本体に車載マウンタを取り付けます。
本体上部のネジ穴と車載マウンタのネジ穴を合わせ、車載マウンタ全体を時計回りに回しながらネジを締めていきます。

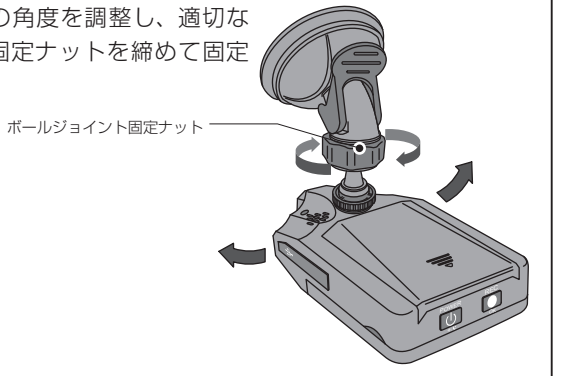


②ネジが十分奥まで入ったら、ネジ固定ナットを時計回りに回して固定します。

③フロントガラスに吸盤を押し当てながら固定レバーを押し上げます。

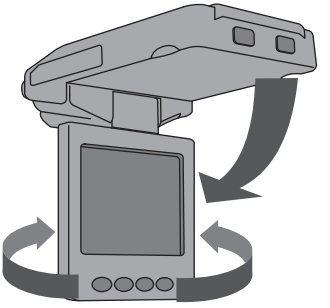


④カメラの角度を調整し、適切な位置で固定ナットを締めて固定します。



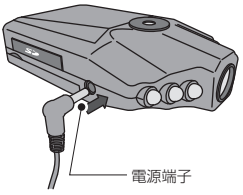
※LCDは右図のように展開します。左右270°回転できますので、お好みの位置に調整してください。

運転中は安全のためLCDを収納し、本体のボタン操作は行わないでください。



3–4. 電源について

本体側面にある電源端子と、車のシガーソケットを付属のシガープラグアダプタで接続します。

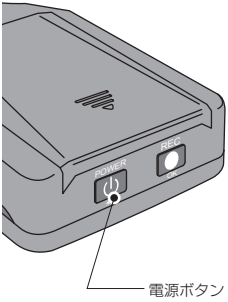


※本製品はシガープラグアダプタのほか、USB経由での電源でも動作します。

※分岐アダプタなどを使用した場合、電圧低下等により正常に動作しない場合があります。その場合は直接の接続でご使用ください。

●電源をONにするには

エンジンをかけ、シガーソケットに通電されると自動的に電源がONになります。（電源がONになると自動的に録画が始まります。16ページ参照）
手動で電源のON ／ OFFを切り替えるには、本体の ⏻ ボタンを2秒程度長押しします。



●オートパワーオフについて

録画停止中、一定時間ボタン操作がないと、本体の電源が自動的にオフになります。（出荷時の設定では、1分で画面表示がオフになり、3分で電源がオフになります。26ページ参照）

3–5. 日付時刻設定

使用前に、日付と時刻の設定を行います。
※バッテリーの放電によって日付と時刻が初期化されてしまった場合もこの操作を行い、設定を行ってください。
日付と時刻はLCD下部に表示されています。（初期設定では、撮影された映像にも日付と時刻が刻印されます）

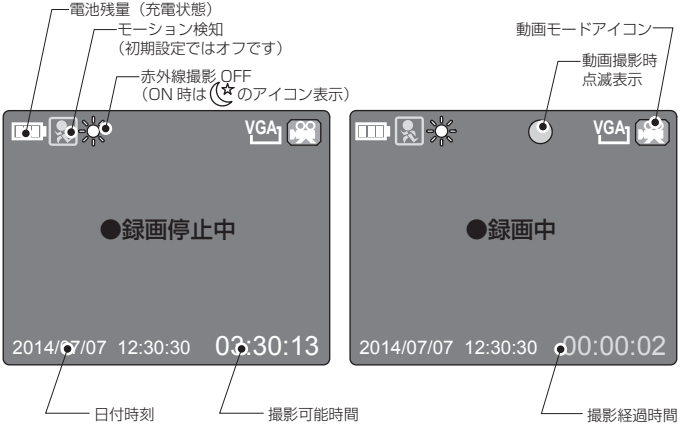
①電源をONにします。
② MENU ボタンを２回押して共通設定画面を表示します。
③ UP ボタンを２回押し（ページが切り替わります）、「日付設定」を選択し、● ボタンで決定します。

④年／月／日／時／分の順番で設定します。
数値は DOWN UP ボタンで調整します。
カーソルを移動させるには● ボタンを押します。
「分」の設定をして、● ボタンを押すと日付と時刻が設定されます。
⑤ MENU ボタンで設定を終了します。

4 使用方法

4−1. 動画を撮影するには

本製品は電源がONになると、自動的に動画撮影モードで起動し、録画を開始します。
LCDの表示の意味は下図のとおりです。



●録画を停止／再開するには

録画中、[●] ボタンを押すと録画を停止します。
[●] ボタンを押すと録画を再開します。

※録画中に [MENU] ボタンや [MODE] ボタンを押して録画モードから他のモード（設定画面）に切り替わった場合や、電源が切れるなど強制的に録画が中断された場合でも、その時点までに撮影された動画は保存される設計になっています。

●動画データについて

撮影された動画データは、「MOVI0000.avi（0000の部分は数字連番）」のファイル名で保存されます。保存場所はSDカード内の「DCIM」フォルダです（自動的に作成されます）。
動画の解像度は640×480 ／ 1280×720ピクセルです。
3分ごとに1つのファイルが作成され、SDカードの容量がいっぱいになると、一番古いファイルから削除されて新しいファイルが保存されます。
※1ファイルの撮影時間は設定で変更できます。26ページ参照。
※音声にノイズが入ることがありますが、故障ではありません。

●赤外線撮影について

夜間の撮影をするには、[⏻] ボタンを短く一回押し、赤外線撮影を有効にします。
画面に アイコンが表示され、本体前面の赤外線LEDが点灯（目視では確認できません）します。
赤外線撮影をオフにするには、[⏻] ボタンをもう一度短く押します。（画面に アイコンが表示されます。）

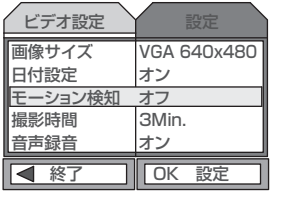
●モーション検知について

撮影画面内に変化が検知された時に録画を開始する機能です。被写体に動きがなくても、画面内に変化があればモーション検知は働きます。

モーション検知がONの場合、電源ON時に一旦自動的に録画を開始しますが、約10秒間画面内に変化がなければ、自動的に録画を停止します。また録画中に駐停車するなどして約10秒間画面内に変化がない場合も自動的に録画を停止します。

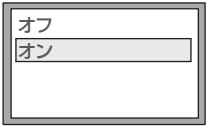
モーション検知のON/OFFを切り替えるには下記の手順を実行します。

①動画モード時、MENUボタンを押して「ビデオ設定」画面を表示します。



② DOWNボタンを2回押し、「モーション検知」を選択しボタンを押して決定します。

③ DOWN UPボタンで「オフ」または「オン」を選択し、ボタンで決定します。



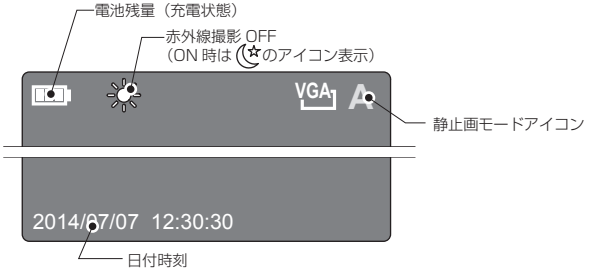
※モーション検知がONの時は画面に のアイコンが表示されます。

4−2. 静止画を撮影するには

●モード切替について

電源ON時、動画撮影モードで起動します。静止画撮影モードに切り替えるには、MODE ボタンを1回押します。（モードは、動画→静止画→映像再生の順で切り替わります。）

静止画撮影モード時のLCDの表示の意味は下図のとおりです。



●撮影するには

静止画を撮影するには、● ボタンを押します。

●静止画データについて

撮影された動画データは、「PICT0000.jpg（0000の部分は数字連番）」というファイル名で保存されます。保存場所はSDカード内の「DCIM」フォルダです（自動的に作成されます）。

画像の解像度は640×480です。（固定）

●赤外線撮影について（→17ページ参照）

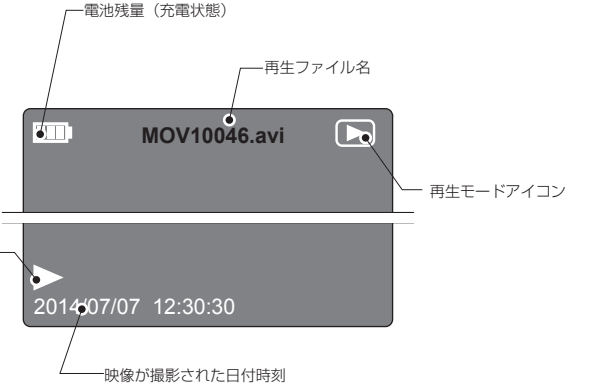
4−3. 撮影した動画／静止画を確認するには

撮影したSDカード内の動画／静止画をLCDで再生することができます。

●モード切替について

電源ON時、動画撮影モードで起動します。再生モードに切り替えるには、 MODE ボタンを2回押します。（モードは、動画→静止画→映像再生の順で切り替わります。）

再生モード時のLCDの表示の意味は下図のとおりです。



●再生したい映像ファイルを探すには

再生モード切替時、いちばん最後に撮影した映像ファイルが再生されます。 DOWN UP ボタンを押すと、撮影順にファイルが切り替えられます。

●動画ファイルを再生するには

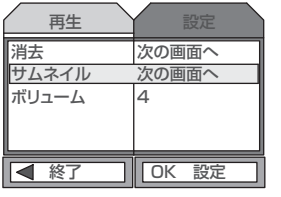
OKボタンを押します。再生を停止するにはもう一度OKボタンを押します。

●一覧表示（サムネイル表示）で再生ファイルを探すには

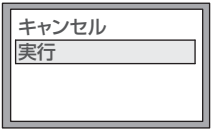
LCD画面にサムネイルを一覧表示させ、再生したい映像ファイルを探すことができます。

サムネイルを表示させるには、下記の手順を実行してください。

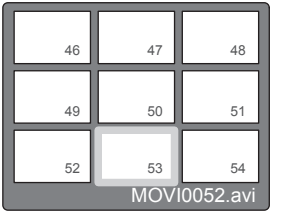
①再生モード時、MENUボタンを1回押し、「再生設定」画面を表示します。DOWNボタンを1回押して「サムネイル」の項目を選択し、OKボタンで決定します。



②右の画面が表示されますので、DOWNボタンを1回押して「実行」を選選択し、OKボタンで決定します。



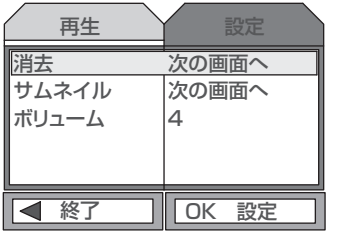
③サムネイルが表示されます。DOWN UPボタンでサムネイルを選択し、OKボタンで再生します。



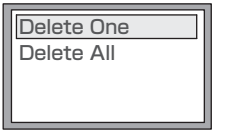
4−4. ファイルを削除するには

撮影した映像ファイルを削除することができます。

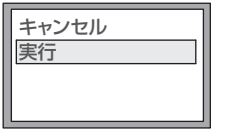
①再生モードで削除したい映像ファイルを選択し、MENU ボタンを押します。再生設定画面が表示されますので、「消去」を選択して ● ボタンを押します。



②そのファイル１つのみ削除したい場合は「Delete One」を、SDカード内すべてのファイルを削除したい場合は「Delete All」を選択し、● ボタンを押します。



③「実行」を選択し、● ボタンを押します。

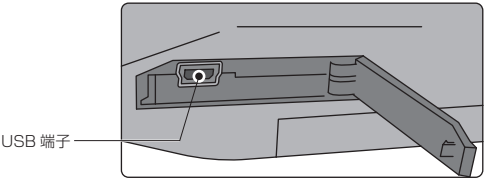


4–5. ファイルを PC にコピーするには

撮影した映像ファイルはPC等にコピーして保存／再生することができます。

●本体をUSB接続する

本体側面のUSB端子と、PCのUSB端子を付属（または市販の）USBケーブルで接続します。



PC側でカードリーダーとして認識され、SDカードの内容が表示されますので、ファイルを本体からPCへコピーしてください。

※USB接続した際の動作は設定で「パソコン接続」と「PCカメラ（次ページ参照）」が選択できます。初期設定では「パソコン接続」になっています。

●SDカードを直接PC等で読み込む

SDカードスロットのあるPC等では、SDカードから直接ファイルを読み込むことができます。

※ファイルのコピー／再生の詳細な方法については、PCの取扱説明書等を参照してください。

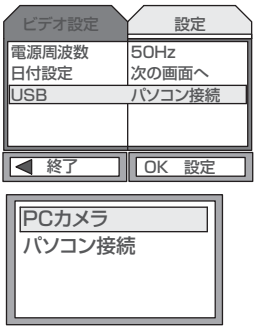
4−6. PC カメラとして使用するには

PCとUSB接続し、PCから本体のカメラ映像を制御することができます。

※PCカメラとして使用する場合は、PC側でカメラを制御するアプリケーションが別途必要になります。詳細な情報は関連書籍、ウェブサイトなどを参照してください。

PCカメラとして使用するには、下記の手順で本体の設定を変更します。

① MENU ボタンを2回押して共通設定画面を表示します。
② UP ボタンを1回押し（ページが切り替わります）、「USB」を選択して、● ボタンで決定します。
③「PCカメラ」を選択して● ボタンで決定します。
④PCと本体をUSB接続します。



※カードリーダーとして認識させたい場合は、上記手順を実行し、手順③で「パソコン接続」を選択してください。
※PCのOSバージョンによっては、PCカメラとして認識されない場合があります。

5 各種設定

この項目では、本体の各種設定項目について説明しています。
主要な設定項目と変更方法については「4．使用方法」にて触れていますが、必要に応じて、本項を参考にその他の設定項目を変更してください。
設定画面は大別して4つに分類されています。

1．共通設定（本体の基本的な設定）
2．ビデオ設定（動画撮影に関する設定）
3．フォト設定（静止画撮影に関する設定）
4．再生設定（再生モードに関する設定）

●設定画面の操作について

各モード時、 MENU ボタンを1回押すとそのモードに関する設定画面になります。もう一度 MENU ボタンを押すと共通設定画面になります。
項目間のカーソル移動は DOWN UP ボタンで行います。
決定は ● ボタンを押します。

5−1. 共通設定

設定項目	選択項目	説明
フォーマット	キャンセル／実行	SD カードのフォーマット
表示言語	英語／繁体中文／簡体中文／**日本語**／その他	システムの表示言語
画面自動オフ	オフ／**1 分**／3 分／5 分	一定時間操作が無かった時に LCD 画面表示を消灯するまでの時間。「オフ」で自動消灯しません
電源自動オフ	オフ／1 分／**3 分**／5 分	録画停止中、一定時間操作が無かった時に電源を切るまでの時間。「オフ」で電源自動オフしません
初期設定に戻す	キャンセル／実行	工場出荷時の設定に戻します
電源周波数	**50Hz** ／ 60Hz	周波数を変更します
日付設定	※15 ページ参照	日付時刻の設定をします
USB	PC カメラ／**パソコン接続** ※23 ページ参照	PC と USB 接続した時の動作を選択します

※太字は初期設定値

5−2. ビデオ設定

設定項目	選択項目	説明
画像サイズ	**640x480** ／1280x720	撮影画像解像度
日付表示	オフ／**オン**	日付時刻の表示。オンの場合、撮影映像にも記録されます
モーション検知	**オフ**／オン ※18 ページ参照	画面内に変化を検知した時のみ録画します
撮影時間	オフ／1分／**3分**／5分／10分／15分	1 つのファイルの最大撮影時間
音声録音	**オン**／オフ	音声録音

※太字は初期設定値

5−3. フォト設定

設定項目	選択項目	説明
コントラスト	ハード／**ノーマル**／ソフト	撮影画像のコントラスト
シャープネス	ハード／**ノーマル**／ソフト	撮影画像のシャープネス

※太字は初期設定値

5−4. 再生設定

設定項目	選択項目	説明
消去	※22 ページ参照	映像ファイルの削除
サムネイル	※21 ページ参照	サムネイル表示
ボリューム	0～6	操作音の音量

6 メンテナンス

本体部分の汚れは柔らかい布で乾拭きしてください。本製品は精密機器のため、水や洗剤等、液体は使用しないでください。

●故障の場合は

修理の必要が生じた場合や、紛失などによる部品交換の必要が生じた場合には、本書巻末にある製品保証書に必要事項を記入し、販売店またはサポートセンターまでご連絡ください。

保証期間が過ぎている場合や、保証規定によらない故障、部品紛失の場合はお客様のご希望により有償修理となります。

●廃棄する場合は

本製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体が定める方法に従って廃棄してください。

7 仕様表

対応電源	シガーソケット電源（DC12V ／ 24V）／ USB 電源（5V）
本体入力電圧	DC5V
内蔵電池	リチウムイオン電池
カメラ画素数	30 万画素
カメラ視野角	72°
記録媒体	SD（SDHC）カード　最大 32GB
音声録音	ON/OFF 可能
モーション検知	ON/OFF 可能
赤外線撮影	ON/OFF 可能
録画時間（1ファイル）	1 分／ 3 分／ 5分／ 10 分／ 15 分／制限なし
解像度	640×480 ／ 1280x720 ピクセル
記録方式	動　画：AVI、フレームレート 30 コマ／秒 静止画：JPEG
USB 端子	Mini USB 2.0
モニター	2.5 インチ液晶ディスプレイ
動作環境温度	0℃～ 45℃
本体寸法	約 60（幅）×106（奥行き）×32（高さ）mm
本体重量	約 81g（バッテリー含まず） 約 346g（車載マウンタ、バッテリー含む）

8 故障かな？と思ったら

状　態	処　置
電源が入らない（電源が不安定）	○シガープラグアダプタ、または USB ケーブルが正しく装着されているか確認してください。 ○シガーソケット内が汚れていたり、埃が付着していると正しく給電されない場合があります。清掃を行ってください。 ○バッテリーのみで動作させている場合、バッテリーが放電されている可能性があります。電源を接続して使用してください。
電源自動オフを設定していないのに電源が自動的に切れる	○バッテリーの残量が少ない可能性があります。電源を接続して使用してください。
日付時刻設定がずれる／初期化されてしまう	○バッテリーが放電されると日付時刻設定、その他の設定が初期化されます。電源を接続して充電し、設定をやり直してください。
ファイルが保存されない／壊れていて読み込めない	○SD カードが正しくセットされているか確認してください。SD カードが無ければ撮影はできません。 ○SD カードが壊れている可能性があります。新しい SD カードに交換して使用してください。
LED 信号機の光が正しく撮影できない	○LED 信号機の周波数とカメラのフレームレートが同期して、信号機の光源が点滅したり映らないという現象が発生することがありますが、故障ではありません。

うまく動作しないときは、まず上記の項目をチェックしてください。該当する項目がない場合、または対策を試しても直らない場合は、販売店にご相談ください。

9 アフターサービス

①保証書

この取扱説明書には保証書がついています。保証書はお買上げの販売店で「販売店名・お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日より６ヶ月間です。

②修理を依頼される時

※保証期間中は製品に保証書を添えてお買上げ販売店へご持参ください。保証規定の記載内容により、無料修理致します。

※保証期間経過後の修理は、修理すれば使用できる製品については有料で修理を承ります。

※保証期間内外に関わらず、当社に直接お送り頂く際の送料は、お客様負担とさせて頂きます。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または下記サポートセンターにお問い合せください。

③アフターサービスについてご不明な場合

アフターサービスについてご不明な場合には、お買上げ販売店、または下記サポートセンターまでお問い合わせください。

お取扱い方法についてのご相談およびアフターサービスのご案内

サポートセンター
電　話　番　号 **03-6803-0191**

受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00
（土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く）

製品保証書

持込修理

〈保証規定〉

このたびは、DIXIA ドライブレコーダーをご購入頂きありがとうございます。当社ではアフターサービスを提供することを保証いたします。お客様の権益を保護するため、下記の文章をご覧ください。

①ご購入日から６ヶ月以内に正常なご使用で故障が発生した場合、製品と、保証書をご持参のうえ、お買い上げ販売店にお申しつけください。当社無料修理保証規定に基づき無償で修理、または新品と交換いたします。

②保証期間でも次のような場合には有料修理となります。

※使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。

※お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障または損傷。

※火災、地震、水害、落雷、その他天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。

※業務用としての使用、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。

※本書の提示がない場合。

※本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

③本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合はただちにお買上げの販売店へお申し出ください。

●太枠線内はご購入後、お客様自身がご記入ください。

●本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

製品保証書

製品名	
ドライブレコーダー　DX-DR30	
保証期間(お買い上げ日より) 6ヶ月間	お買い上げ日 年　月　日

お客様

フリガナ

お名前　様

ご住所　〒　－

電話番号(　)　－

取扱販売店名･住所･電話番号

販売元　株式会社TOHO

TOHOサポートセンター

Tel.03-6803-0191

受付時間：月～金　10:00～12:00　13:00～17:00
※土日、祝祭日はお休みを頂いております。